第 494 回情報化研究会報告

この日は参加申込が 13 名でしたが 1 名が未接続の様子でした。講師は、合同会社フォレストらぼ代表としてドローンを 4 機保有され、ドローンインストラクター、森林インストラクターでもあり、今回の講演に期待大でした。

アジェンダは、ドローンを取り巻く状況として、①ドローンとは、②ドローンに関する法整備、ドローンビジネス市場についてとして、③市場規模と見通し、④サービス市場、⑤ドローン活用のタイプ、⑥実用化の課題、農林水産業×環境調査への活用として、⑦農業分野、⑧林業分野、⑨鳥獣害調査及び対策、⑩環境モニタリング、のように紹介された。

最初にドローンを取り巻く環境について「空の産業革命に向けたロードマップ」について説明いただいた。ドローンに関連する法整備についてはレベル 1 からレベル 4 の飛行レベルについてと航空法改正のポイントに説明いただいた。

次にドローンビジネス市場については、機体認証・操縦ライセンス制度についてと国内のドローンビジネス市場とサービス市場の年度別予測を見せていただいたが、サービス市場の主力が点検と農業になっていて、物流分野が遅れて増えていくのが以外でした。

農林水産業×環境調査への活用については、各分野における実例を紹介いただいた。林業分野の「ナラ枯れ調査」や「単木区分調査」はドローンならではの事例として興味深いものでした。環境モニタリングとして植生の経年遷移調査も良い活用例と思われた。

質疑応答は色々な面からの質問が出され、予定時間を超えてしまい終了とした。